

授業科目(ナンバリング)	栄養学応用演習Ⅱ(IC394) (実践的教育科目)			担当教員	廣田 昌彦 (実務経験のある教員)		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	3年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>栄養学の基礎となる学問は、多くあるが、本科目では、特に臨床医学に重点を置き、医学と栄養の関連する領域について、3年次前期までに学修した知識を基に、より具体的かつ詳細、また総合的に理解することを目的とする。すなわち、代表的な内科的疾患について、その疾患の病態、診断法、治療法、予防法を理解する。管理栄養士に必要な臨床医学とそれに関連する栄養学の基礎と専門の知識を身につけることが目標である。</p>							① ② ③ ⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	栄養学的に重要な内科的疾患について、その知識を体系的に理解して説明でき、その知識を臨床の場面で活用することができる。				・定期試験 ・小テスト	60% 15%	
情報収集、分析力	栄養学的に重要な内科的疾患について、必要な情報を信頼できる情報源から効率よく収集することができる。				・定期試験 ・小テスト	10% 5%	
協働・課題解決力	栄養学的に重要な内科的疾患に関する課題を的確に把握し、他の人と協力して、課題解決に向けた方策を立案し、着実に実行できる。				・授業態度・ 授業への参加度	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>評価点は、定期試験の結果を70%とし、10回目に実施する小テストの結果を20%として算定する。授業態度・授業への参加度は、授業中の態度、取り組み、関心・意欲、質問等に対する返答で、10%として評価する。小テストについては、授業において解説し、フィードバックする。</p>							
授業の概要							
<p>あらかじめ各項目ごとに、要点を整理した自作のプリントを配布し、解説を加えていく。板書の他に、実際の医療の場面に即した、パワーポイント、ビデオ、DVDなどの視聴覚教材を使用する。臨床医学的な検査法については、医師としての臨床経験に活かし、実習の形で実際に行ない、また、医療機器についてもできるだけ供覧する。また、授業中には、できるだけ多くの質問をし、これに対するディスカッションの時間を設けている。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない。各項目についてプリントを配布する。  参考書：栄養科学イラストレイテッド演習版「臨床医学ノート 疾病の成り立ち」、田中 明、他編、羊土社  栄養科学シリーズNEXT「臨床医学入門」第2版、武田英二、河田光博、編、講談社  指定図書：栄養科学シリーズNEXT「臨床医学入門」第2版、武田英二、河田光博、編、講談社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>あらかじめ伝えた次回の授業の内容について、自分で調べて大まかな把握をしておくこと。授業中に生じた幾つかの疑問点については、できるだけ授業時間内に質問し、解決する。授業中の私語、携帯電話等の不必要な使用は厳禁である。管理栄養士は、医療現場での重要なスタッフの一員なので、医療における幅広く深い知識、患者教育に役立つ実践的な知識を身につけるように努力されることを期待する。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	医療人としての心構え	1 患者への接し方 2 プライバシーの保護 3 診療記録の見方・書き方	医療人としての心構えについての復習。高血圧についての予習。
2	高血圧	高血圧の概要を習得し、検査データの見方・考え方、治療方針、食事療法について学ぶ。	高血圧についての復習。糖尿病についての予習。
3	糖尿病	糖尿病の概要を習得し、症例について、検査データの見方・考え方、治療方針、食事療法について学ぶ。	糖尿病についての復習。内分泌疾患についての予習。
4	内分泌疾患	内分泌疾患の概要を習得し、症例について、検査データの見方・考え方、治療方針、食事療法について学ぶ。	内分泌疾患についての復習。慢性腎臓病・ネフローゼについての予習。
5	腎疾患(1)	慢性腎臓病(CKD)・ネフローゼの概要を習得し、症例について、検査データの見方・考え方、治療方針、食事療法について学ぶ。	慢性腎臓病・ネフローゼについての復習。腎不全・腎癌についての予習。
6	腎疾患(2)	腎不全・腎癌の概要を習得し、症例について、検査データの見方・考え方、治療方針、食事療法について学ぶ。	腎不全・腎癌についての復習。肥満症・動脈硬化・メタボリックシンドロームについての予習。
7	肥満症・動脈硬化・メタボリックシンドローム	肥満、動脈硬化、メタボリックシンドロームの概要を学び、症例について、検査データの見方・考え方、治療方針、食事療法について習得する。	肥満症・動脈硬化・メタボリックシンドロームについての復習。循環器疾患についての予習。
8	循環器疾患	虚血性心疾患・不整脈・心不全の概要を習得し、症例について、検査データの見方・考え方、治療方針、食事療法について学ぶ。	循環器疾患についての復習。高尿酸血症・脂質異常症についての予習
9	高尿酸血症・脂質異常症	高尿酸血症(痛風)、脂質異常症の概要を習得し、症例について、検査データの見方・考え方、治療方針、食事療法について学ぶ。	高尿酸血症・脂質異常症についての復習。肝・胆・膵疾患についての予習。
10	肝・胆・膵疾患	肝疾患・胆のう胆道疾患、膵疾患の概要を習得し、症例について、検査データの見方・考え方、治療方針、食事療法について学ぶ。小テスト	肝・胆・膵疾患についての復習。消化管疾患についての予習。
11	消化管疾患	消化管疾患の概要を習得し、症例について、検査データの見方・考え方、治療方針、食事療法について学ぶ。	消化管疾患についての復習。呼吸器疾患についての予習。
12	呼吸器疾患	呼吸器疾患の概要を習得し、検査データの見方・考え方、治療方針、食事療法について学ぶ。	呼吸器疾患についての復習。血液疾患についての予習。
13	血液疾患	血液疾患の概要を習得し、検査データの見方・考え方、治療方針、食事療法について学ぶ。	血液疾患についての復習。免疫異常についての予習。
14	免疫異常	免疫異常の概要を習得し、検査データの見方・考え方、治療方針、食事療法について学ぶ。	免疫異常についての復習。感覚器・整形疾患についての予習
15	感覚器・運動器疾患	感覚器・運動器疾患の概要を習得し、検査データの見方・考え方、治療方針、食事療法について学ぶ。	感覚器・運動器疾患についての復習
16	定期試験		